

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	子ども教育専門ゼミ I					授業形態	授業形態	演習			
科目コード	750114	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○		○
担当教員名	園田 博一							ICT活 用	○		○
授業概要	<p>世界的な取り組みとして注目されている「ESD(Education for Sustainable Development: 持続可能な発展のための教育)」は、知識を持つだけでなく多様な知識を関連づけて活用し、ひとり一人が主体的且つ協働的に課題を解決していく力の育成を目指している。ESDの視点を持った自然を対象とするテーマ探求型の環境教育は、答えが1つに限らず、解決のプロセスも様々となるため、子ども達に、今求められる「確かな学力」を育む効果が期待される。このゼミナールでは、「なぜ？」をキーワードに、大学や地域の自然環境を対象としたフィールドワークに学生が主体的に取組み、ESDの視点を持った環境教育の指導に必要な調査・研究手法の習得を図る。また、データ解析、文献の引用法、まとめ、プレゼンテーションの方法についても確認する。</p>										
関連する科目	入門ゼミ、プレゼミを踏まえて、4年時に専門ゼミIIを履修する。										
授業の進め方 と方法	<p>卒業研究に向けて、テーマに沿ったレジメを担当者が準備し、プレゼンをして、全員で議論をする。各自のテーマを明確にし、先行研究を基に、卒論執筆の準備段階とする。アンケート類の必要性があれば確実に実施していく。基礎的な資料収集を徹底して行う。</p>										
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション 3年時の流れについて確認する。										
授業計画 【第2回】	第2回：課題設定：教育の現状と課題調査(1) テーマ選択の重要性を説く。										
授業計画 【第3回】	第3回：課題設定：課題調査(2) テーマに沿った資料収集を計画的に進める。										
授業計画 【第4回】	第4回：報告と討論：調査の現状と課題について報告(1)										
授業計画 【第5回】	第5回：報告と討論：調査の現状と課題について報告(2) 個人の方向をゼミ間で共有する。										
授業計画 【第6回】	第6回：報告と討論：教育の現状と課題について報告(3) 個人テーマを掘り下げる										
授業計画 【第7回】	第7回：中間まとめ 前期までの取り組みをまとめる、ゼミ内で中間発表する。										
授業計画 【第8回】	第8回：各自の問題意識・関心の確認 調査の進捗状況を確認する。										
授業計画 【第9回】	第9回：各自の関心に基づいた課題設定(1) 本人のテーマ、調査、考察を進める。										
授業計画 【第10回】	第10回：各自の関心に基づいた課題設定(2) 卒論の主題となる構造を作る。										

授業計画【第11回】	第11回：先行研究や基礎文献の情報収集 論旨を明確にしていく。
授業計画【第12回】	第12回：先行研究や基礎文献の整理 資料の確認、追調査。
授業計画【第13回】	第13回：各自の課題に沿った報告と質疑応答(1) 方向性と内容を最終的に確認する。
授業計画【第14回】	第14回：各自の課題に沿った報告と質疑応答(2) 各自のテーマに沿った記述を点検する。
授業計画【第15回】	第15回：各自の課題に沿った報告とまとめ。 方向性を明確にし、次年度へ向けた取り組みの意思を固める。
授業の到達目標	文献や資料を丁寧に読み、レジュメとして整理し、報告することについて一連の流れを身につける。また、2年次までに身に付けた文献の読み方、発表や討論の在り方、レポートのまとめ方等（Power Point）の力を生かし、事実在即して自らの頭で考える力をつける。
学位授与の方針（DP）との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	毎回の終了後に、内容を振り返り、内容に関連して自分が考えたことをまとめ、文章として表現するレポートを課す。また、終了時に提示される課題について、次回の講義までに準備をしてくる。課題については担当教員に随時相談すること。（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	毎回終了後に、内容を振り返り、内容に関連して自分が考えたことをまとめ、文章として表現するレポートを課す。また、終了時に提示される課題について、次回の講義までに準備をしてくる。課題については担当教員に随時相談すること。（1時間程度）
課題に対するフィードバック	課題については、ゼミの中で解説、論証する。
評価方法・基準	討論や文献・情報収集への取り組み姿勢・態度およびレポートや報告の内容等で評価する。 なお、レポートについては、講義内容をまとめた状態を最低限のレベルとし、理解に基づく活用、さらに応用といった、知識を基にして、様々なことと関連づけて思考・判断したことが表現できているかどうかを評価する。
テキスト	とくに定めず、必要に応じて資料を配布する。
参考書	自分の課題に応じた資料、情報、参考書の収集を行う。
備考	